TOBU NEWS

平成１６年7月３０日

東岩槻～春日部間・新鎌ヶ谷～鎌ヶ谷間の複線化が完成

野田線でダイヤ改正を実施
複線化の延伸とスピードアップにより、
利便性が大幅に向上いたします
大宮～柏間最大で１４分短縮（朝ラッシュ時）

平成１６年１０月１９日（火）野田線ダイヤ改正

東 武 鉄 道 株 式 会 社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、平成７年３月に特定都市鉄道整備事業計画の認定を受けて進めてきました、野田線東岩槻～春日部間（営業キロ4.3㎞）および新鎌ヶ谷～鎌ヶ谷間（営業キロ1.9㎞）の複線化工事の完成に伴い、**野田線全線でダイヤ改正を平成１６年１０月１９日（火）に実施します。**また、スピードアップ（最高速度１００㎞／ｈ）を図り、複線化とあわせて所要時分を短縮するとともに、大幅な増発を図り、利便性が向上いたします。

今回のダイヤ改正のポイントは次のとおりです。

１．スピードアップで、所要時分を短縮します

【平日朝ラッシュ時】

柏　→大宮間　５～１４分短縮
大宮→柏　間　６～１３分短縮
船橋→柏　間　１～　３分短縮
柏　→船橋間　２～　８分短縮

【昼間時】

大宮～柏　間　２～４分短縮
柏　～船橋間　１～２分短縮

２．大宮～春日部間を増発します

【平日朝ラッシュ時】

春日部始発４本を新設し、春日部発大宮行き列車を７本から１１本に増発します。

【昼間時】

１時間４本運転（１５分間隔）を６本運転（７分３０秒～１５分間隔）に増発します。

野田線ダイヤ改正の概要は次のとおり

<別紙１>

１．スピードアップによる所要時分の短縮

東岩槻～春日部間（営業キロ4.3㎞）および新鎌ヶ谷～鎌ヶ谷間（営業キロ1.9㎞）の複線化により、単線区間における上下列車の待ち合わせ時間を解消するとともに、最高速度を向上（９０㎞/h→１００㎞/h）させて、所要時分の短縮を図ります。

なお、一部運転していた旧型車両（形式５０００系）を廃車します。

【朝ラッシュ時　所要時分の比較】　（単位：分）

		現行での所要時分	改正後の所要時分	短縮時分
上り方面	柏　→大　宮	75～81	67～71	5～14
	春日部→大　宮	27～30	22	5～8
	船　橋→　柏	33～37	31～36	1～3
下り方面	大　宮→　柏	71～82	64～72	6～13
	大　宮→春日部	24～28	21～23	1～ 5
	柏　→船　橋	34～38	30～35	2～ 8

【昼間時　所要時分の比較】　（単位：分）

	現行での所要時分	改正後の所要時分	短縮時分
大　宮～　柏	66	64～62	2～4
大　宮～春日部	23	21～20	2～3
柏　～船　橋	31～30	30～28	1～2

２．東岩槻～春日部間の複線化に伴う列車増発

東岩槻～春日部間の複線化および春日部駅の引上線新設により、東岩槻での折返し列車を廃止し、春日部始発列車を新設します。これに伴い、平日朝ラッシュ時での春日部発大宮行き列車の設定を現行７本から１１本に増発し、利便性の向上を図ります。

また、昼間時間帯においては大宮～春日部間で現行毎時４本（１５分間隔）を６本（７分３０秒～１５分間隔）に増発します。

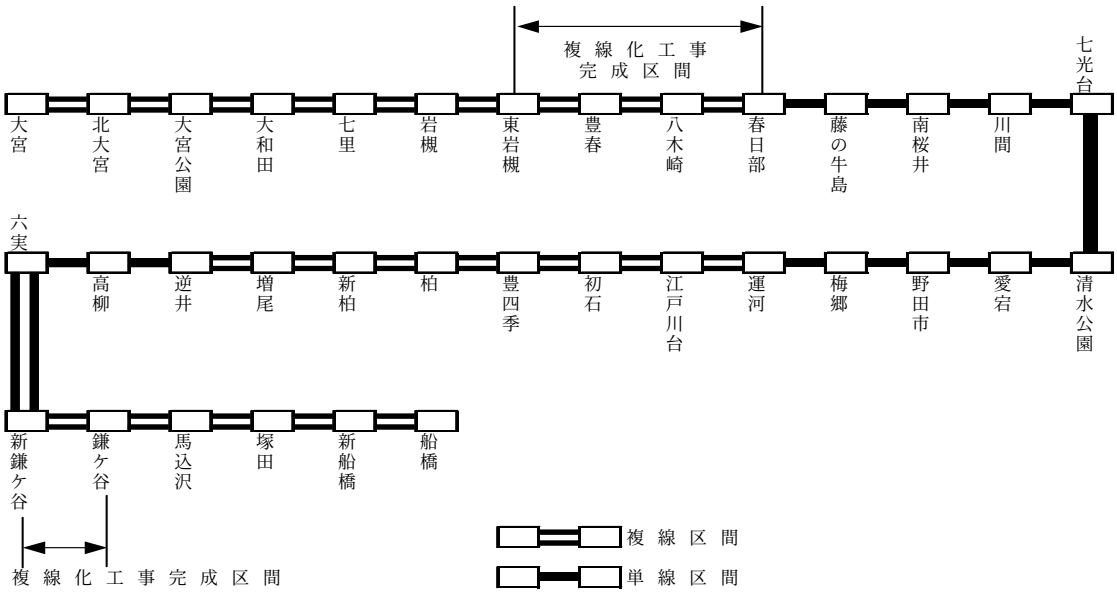
３．平日夕刻時間帯の列車増発

平日の夕刻時間帯での大宮・春日部口の下り列車を増発し、利便性の向上を図ります。大宮口では１６時台に岩槻行きを、１８・１９時台に柏行きを各１本増発し、これにより、１６時～１９時台は、毎時８本運転といたします。また、春日部口でも柏行き列車を１８・１９時台に各１本を増発します。

<別紙２>

４．野田線の複線化状況

野田線全線６２．７㎞（うち複線区間40.8㎞、単線区間21.9㎞）



以　上

△複線化工事中の東岩槻～春日部間